

第1講 ガイダンス

1. 概要

「初級ミクロ経済学」では、現実経済との対応に十分配慮しつつ、家計、企業、市場といったミクロ経済学の基本的な考え方について理解するとともに、中級クラスのミクロ経済学への橋渡しとなるよう、練習問題による反復を通じて徹底的な基礎固めを行うことを目的とする。したがって、取り扱う内容は基礎領域にとどめ、できる限り具体的な例示を通じて、詳細に解説をおこなう。

2. 到達目標

ミクロ経済学の基本的な考え方について理解できるようになる。

3. 講義の進め方

テキストにしたがい下記の順に講義する。

- 1章 基礎概念と分析手法
- 2章 消費者行動
- 3章 企業行動
- 4章 競争経済の均衡
- 5章 経済厚生
- 6章 不完全競争
- 7章 公共経済
- 8章 不確実性と情報
- 10章 国際貿易
- 11章 ゲームの理論

4. 成績評価

中間試験 50%，期末試験 50%

5. テキストほか

テキスト 武隈慎一(2016)「新版ミクロ経済学」, 新世社.

参考文献 武隈慎一(2017)「演習ミクロ経済学第2版」, 新世社.

6. 注意事項ほか

テキストを持参していることを前提として講義を進めます。

講義の進度と並行して、講義資料の練習問題やテキストの章末問題を解くことをお勧めします。

質問などがあればメールで受け付けます(携帯メールは不可)。

講義資料は、下記サイトの Courses 2019 に逐次アップします。

メールアドレス kazu@mail.doshisha.ac.jp

講義資料 <http://www1.doshisha.ac.jp/~kmiyazaw/>

1 章 基礎概念と分析手法

太郎「高校で経済学って学んだっけ？」

花子「政経の先生、ミッフィーの口って言ってた」

経済学の目的

経済現象を説明し理解する.

その理解を現実の問題解決のために役立てる.

1.1 経済分析の基本用語

財 (good), サービス (service)

経済主体 家計 (household), 企業 (firm), 政府 (government)

家計 財を消費する, 労働を供給する, 資本を供給する

企業 財を生産する, 労働を需要する, 資本を需要する

政府 税を徴収する, 公共財を供給する, 労働を需要する, 資本を需要する

生産要素と生産物

$$Y = F(K, L, T)$$

Y 生産物 (output), K 資本 (capital), L 労働 (labor), T 土地 (land)

生産要素と生産物の対応を表す関数 $F(\cdot)$ を生産関数 (production function) という.

価格 (price)

市場 (market)

1.3 市場経済

需要曲線 (demand curve) と供給曲線 (supply curve)

市場均衡 (market equilibrium)

内生変数と外生変数 (パラメータ)

比較静学分析 (comparative statics)

部分均衡と一般均衡

完全競争の 4 つの条件

(1) 多数の需要者と多数の供給者 価格受容者 (price taker)

(2) 製品差別化なし

(3) 参入退出の自由

(4) 完全情報

1.4 数学的用語

関数とグラフ

連続性と微分可能性

微分

最大・最小 (極大・極小)

偏微分 (多変数関数の微分)

太郎「均衡ってちょっとかっこいい」
